平成30年度全国統一防火標語

「忘れてない? サイフにスマホに 火の確認」

58 믕 第

平成30年6月15日

発 行 高槻市桃園町4番30号 高槻市消防団 電話 674-7980

高槻市消防団長

前野

就任

0)

御挨拶

安全・安心の為に団員一 対応出来うる様、市民の 年でもあり、各種災害に

退

人一人が自覚を持ち、よ

一層の活動を期待しま

茂

御健勝のこととお喜び申 におかれましては、益々 初夏の候、団員の皆様

年四月一日をもちまして でございます。 消防団の使命達成の為、 御支援、御協力を頂き、 未熟者ですが、皆様方の という重責に任じられま を受けまして、消防団長 前団長髙井様の勇退の後 全力を上げ努力致す所存 した。元より浅学菲才で さて私こと、平成三十

-周年という記念すべき 又、自治体消防制度七

> します。 上げて就任の御挨拶と致 最後に団員各位の御健 一御多幸をお祈り申し

し上げます。



事が出来ました。厚く御

礼申し上げます。

お陰さまで重責を果たす 位に御指導御鞭撻を賜り、 ました。在任中は関係各

年三月三十一日をもって

さて私こと、平成三十

び申し上げます。

団員の皆様には、御健勝

身体及び財産を保護する

消防団は市民の生命・

初夏の候、

高槻市消防

にてお過ごしの事とお喜

高槻市消防団を退団致し

就任 0) 御挨拶

初夏の候、消防団の皆

りますことに、心より感 な消防団活動を頂いてお とお喜び申し上げます。 様には益々御健勝のこと 平素は各地域で献身的

> 負託に答える為には、消 考えております。市民の

高槻市消防長に就任いた 年四月一日をもちまして 謝を申し上げます。 力を投じてまいる所存で 消防の任務遂行のため全 才の身ではございますが こざいますので、前任者 しました。元より浅学菲 さて、この度平成三十 ましては、今後ともより 事態に対処出来るよう一 防団と消防本部が不測の 上げ就任の挨拶とさせて 賜りますよう重ねてお願 消防団員の皆様におかれ 制が必要でございます。 致団結した強固な協力体 に、高槻市消防団の今後 い申し上げます。むすび 一層の御支援と御協力を

御支援と御協力を

頂きます。

賜りますよう、 し上げます。 お願

> にとって意義のある期間 させて頂きました事は私

防に対する市民の期待は 生も危惧されており、消 象の影響を受け各地で豪 益々高まっているものと 震源とする巨大地震の発 雨災害が頻発しておりま す。また、南海トラフを 近年我が国は、異常気

前高槻市消防長 大西

高槻市消防長 野倉

洋克

日々御尽力されているこ 全・安心の確保のために とに深く感謝申し上げま ととお喜び申し上げます。 様方には益々御健勝のこ 平素は、地域住民の安

きました。 事定年退職させていただ ちまして三十八年の消防 三十年三月三十一日をも 人生に終止符をうち、無 さて、私こと去る平成 これもひとえに、

退任の



初夏の候、 消防団の皆

皆様 を祈念申し上げ、退任の 御発展と各団員の御健勝 挨拶とさせていただきま 高槻市消防団の益々の

御挨拶 道明

消防が発足して七十周年 更なる連携強化に努めて 防団をはじめ消防本部が 域防災力の中核となる消 つ的確に対応すべく、 化する各種災害に迅速か いかなければなりません 益々複雑多様化、大規模 南海トラフ巨大地震や首 都直下型地震、さらには 終わりに本年は自治体 今後発生が懸念される 地

かげと心から感謝いたす かい御指導と御支援のお とともに厚くお礼申し上 方をはじめ関係各位の温

を迎え記念すべき年であ 十九年度

> よかったと思います。 認ができたことが非常に かな動きがあり、その確

前高槻市消防団長 高井 任 0 御挨拶 博

導の下、役割を果たせま らの七年間は消防団幹部

役割がありますが、近年 まして退団の挨拶と致し と団員の皆様方の御活躍 しくお願いします。 労をお掛け致しますが宜 対しても市民を守る大事 の災害は多種多様化し、 な役割を負託されていま このような困難な災害に 槻市消防団の益々の発展 す。団員の皆様には御苦 御多幸を祈念申し上げ 終りになりますが、高

話になりました。

輩諸氏の指導の下、

四十

消防団に入団当時は先

五年十一ヵ月に渡り今日

消防団活動を務め

人工呼吸の回数等もまだ ED)を行いました。 を想定して人形を使った の取り扱いを学んだ後、 ながら進めたつもりでし つ一つの手順を再確認し すでに救急救命講習を受 いたり、胸骨圧迫回数や けていたこともあり、 昨年に高槻分団だけで

まだ身についていないこ

の仕方、服装の確認など 導でまずは整列し、整頓 牧分団合同の方面隊連携 十六日、 訓練を行いました。今回 塚公園で大冠分団と三箇 淀川河川敷の大

高槻分団

康成

者の皆様の御協力と御指 の皆様そして消防団関係 一日に団長を就任してか特に平成二十三年四月 した事に深く感謝申し上

練」。今年は清水小学校 合同での「方面隊連携訓 団・清水分団・樫田分団 毎年行っている高槻分 班長 宮西

体育館で救急救命講習を 受けました。 先ずは救命処置の手順

救命処置(心肺蘇生とA 六つの班に分かれ、実践 を説明するDVDを鑑賞 し、心肺蘇生法やAED

礎となる規律訓練でした の訓練は消防団活動の基 平成二十九年十一月一 分団本部の方々の御指

る方が現れた時に、落ち ことがとても大事だと思 救急救命訓練を繰り返す っかりと認識したうえで、 AEDがあるかを常々し 自分の生活の中でどこに 着いて対処するためにも、 ざ救命処置を必要とされ とを痛感しました。 いました。 今回だけでなく定期的な 普段の生活の中で、

班長 三箇牧分団 西口 貴司

とをあらためて認識しま

い服装の着用が訓練や活

した。美しい整列や正し

動を確実に行うにあたっ

て、非常に重要であるこ

律の動作については、例必要性を感じました。規 を体験し、習得していく 多かったと思いますが、 ず、今後も実際に指揮者 ひとつひとつの動作に細 て右にまわっていた方も えば「まわれ右」の動作 かスムーズに思い浮かば のような号令をかけるの 次にどのような動作でど 指揮者体験でした。実際 た私にとっては初めての 四月に新たに班長となっ 練を行いました。今年の のもと、停止間の規律訓 では何となく足を動かし ブに分けて、班長の指揮 に指揮を行ってみると、 次に参加者を四グル

活動を行う必要がある火 を確認しながら活動する 場では、今回の訓練のよ があるかと思いますが、 ます。今後も様々な訓練 本となってくるかと思い 災現場などでの動作の基 うにひとつひとつの動作 各団員に指導できるよう 習得していくと同時に、 とができるよう一つずつ 現場の活動にも生かす<u>こ</u> で行った内容は、迅速に ことはできません。訓練 にも努力していきたいと 実際の火災や災害の現

認を行いませんが、周り

かなか細かい部分まで確 で行いました。普段はな からの確認を参加者全員

列の手順などを確認しま から美しく見える為の整 ・ 義仁 (芥川分団) ・ 義大 (芥川分団) ・ 奏之 (芥川分団) ・ でいる (芥川分団) ・ でいる (芥川分団本部)

(元五領分団本部)

(唐崎班)

(富田分団本部



(梶原南班)

平成三十年春の褒章

山城 信彦 (富田分団本部)

小松 良一 (阿武野分団本部)永年勤続功労章 消防庁長官表彰

井 今 今 樋 樋 田 田 上 道 道 口 口 中 中

消防勤続功労章 大阪府知事表彰 秀憲 (芥川分団本部)

梶村 俊明 渡 吉 寺 窪 邊 田 田 田 森本祐記夫 久野 消防功労章 美広(樫田分団本部) 博道(阿武野分団本部) 京子(団本部) (高槻分団) 西西田田 井上

(三箇牧分団本部)

門 向 岸 近 濱 梶川 井 田 藤 田 村 佳宏 規仁 (阿武野分団本部) (大塚班) (大塚班) (梶原班) (安満班)

寺 奥 岸 川 奥 吉 樋 吉 奥 高 窪 本 野 田 上 田 口 川 田 野 田 正雄 (前島班) (萩之庄班) (塚脇班) (清水分団本部) (阿武野分団本部 (磐手分団本部)

勤続章 善一禎治彦豫 (唐崎班)

不 檀 中 中 奧 福 横 北 高 久 岸 加 濱 行 上 岡 山 川 岡 田田 山 田田 山 伊田 山 佐昌 元 宏昭 博 浩 和 夫 浩 務 平 昭 範 元 宏 西高本村 裕幸 (宮田班) (安満班) (高槻分団) (西之川原班) (赤大路班) (古曽部班) (萩之庄班)

大阪府消防協会長表彰

勝彦 歩 (直鵜班) (芥川分団) (安満班) (磐手分団本部)

久保田芳宏(庄所班) (真上班) (清水分団本部)

大阪府消防協会設立自治体消防制度七十周年

七十周年記念表彰

消防団員家族表彰

昌記

(道鵜班)

昌記 (元富田分団) 保憲 (団本部)

信

(東五百住班) (東五百住班) (大冠分団本部

日本消防協会長表彰

(大塚班)

(如是分団本部)

(高槻分団本部)

弘之 (如是分団本部)

髙村 実(梶原班) 森本祐記夫(高槻分団 本本祐記夫(高槻分団

消防団長表彰

(団本部)

(成合班) (安満班) (道鵜班) (塚脇班) (西之川原班) (阿武野分団本部)

永年勤続章 明充(唐崎班) 浩治(東天川班 悠 浩 貢 明 明 才 一 也 史 大 夫 倫 実 生 秀憲 光夫 (元富田分団本部 +(芥川分団本部) へ(元富田分団本部) - (唐崎班) (富田分団本部) (霊仙寺班) (塚原班) (塚原班) (東天川班) (大冠分団本部) (霊仙寺班) (富田分団) (萩谷班) (清水分団本部) (奈佐原班) (宮田班) (宮田班) (磐手分団本部) (元磐手分団本部 (団本部) ·精山井西大横横河藤山深田田吉岩 勤口上口塩山山中 本井中中田 章 松敬貴 仁太勢一節政直才德隆 西田池竹西田村下中村 岩河本野 臼川小勤 井居林功 章 小中瀬 野川町 和 博 政 光通 博 信弥 (津之江班) (中畑班) (安満班) (東天川班) (奈佐原班 (成合班) (赤大路班) (三島江班) (萩谷班) (別所班) (道鵜班) (柱本班) (浦堂班) (高槻分団

(西之川原班) 茶 高槻 別分団 団長 五領分団 班長

大 分冠班班班班部副 団分長長長長長分 長団 団

檀岡吉 村田 東 俊俊 光徳輝博 功男夫道

退

寸

者

俊之

五領 生物 五領 大 田 田



 楔
 三

 班田班部箇班班部副是班班部副是 好長長分分長長長分分長長長分分長長長分分長長長分分長長長分 団団 団 景
谷大前髙 山西田島 真 弘 浩 良 也 人 治 博

雅治卓久貴輝也雄

卓健次史

磐手分団 芥川**分**団本部 山窪 口田

九月二日(日)

第六十二回大阪府消防大会

大阪府消防協会三島地区支部消防総合訓練

十一月三日(土)

文化の日記念式典

主力機械特別点検

月二十五日(日) 高槻市全域大防災訓練 月九日(金)~十五日(木) 秋季全国火災予防運動 七月七日(土)

大阪の消防大賞

八月十九日(日)

長谷川博一 真樹

清 五 大水前道領 蔵分島鵜分 司団班班団 班 平成三十年一月二十二上牧班 小林 松浦 松森本本

団本部 平成三十年] 一月二十八日付

窪 羽 髙田田井 保俊 憲夫博 秀憲

二日甘太 拓也 宗篤大雄 高槻市消防団入団式•表彰式

団 副 団 本 団 長 部 昇 任 者 良一 茂

平成三十年四月一日付班長 浅野 久司班長 田中 尚之

宮之川原班 原班

今井久阪弓深 道川保口樹井

清 西水霊霊霊氷氷武 三之分仙山宝仙室班班分 川団寺寺班班田 団 班班班田

樋飯樋中河 口塚口村野

平成三十年二月二十五日、

班長 臼井

よりも人通りが多く感じら は暖かかったので、いつも れ、気温もこの時期にして

天神祭りの警備

の天神祭りは日曜日に行わ 的に見回ることです。

高槻分団

竹本啓次郎

如 大 ①分是冠冠萩萩真原 ②分班分谷谷上班 本団 団班班班

寸

芥川分団

副団長 芳 阿 磐 五 奈武別山手道領 佐野所手分鵜分 原分班班団班団 班団

森本

道雄

東五百住班

佃井上

國房

敏雄

麦河田野

泰俊

樫田分団 杉生班 田村 北灰班 田村 田村 田村 田村

幸記

麻畠

和成

畑太中田

雅澄

大冠分団

喜屋武幸

芥川分団

誠

松濱

信 下田部班

樫 出田唐西 灰**分**崎面 班団班班 西面班 瀧川野本 阪口 松永健太郎 正教 純

平成三十年四月一日付 岡田

東天川班 平成三十年五月三十一日付 森田 孔童

平成三十年五月三十一日付 **消防団主力機械特別** ·成二十九年度

実施日

(一) 消防小型動力ポンプ · 連成計不良…一件 · 真空不良 …五件

(三) その他 ・二重固定指示 · 発電機(始動不良) :: 件

平成二十九年十一 (二) 防災資機材等 実施結果」 月十九日

をもう一度考え直し周知徹があり、通常点検の重要性 点検の不備と考えられる所 これらについては、通常 (口頭指示) オブザー

底して下さい。

団本部

石田

義光

されからの主な行事

久保田芳宏 建善夫治 毎年、芥川分団と高槻分多くの人で賑わいます。 神祭りが行われました。 警備を担当させていただき ており、芥川分団は初日の 団は警備で協力させて頂い 通称です。露店が立ち並び 真公の命日にあたる日に行 れる上宮天満宮で、菅原道 社のうち二番目に古いとさ われる例大祭「初天神」の 十六日の二日にわたり天 天神祭りとは、全国天神

宮天満宮までの区間を定期 るJR高槻駅北口から、 警備内容は祭りの行わ 上礼

員 高 樫 富 芥 領 槻 Ш Ш 森本 笠矢 臼井 渡邊 住田 智久 美広 秀典

 \mathcal{F}_{1} 昌宏

手

委 委員長 副委員長 阿武野 清 磐 川 上 吉田 藤松 博道 敏弘 元治

団本部 三箇牧 如 大 是 北島 大田 井上 二神 義治 弘之 忠宏

たかつき消防団だより

降も事故なく、皆が楽しめ地域貢献は、消防団の大 りがいと誇りを感じておりさせていただけることにや ます。 中心に多くのボランティア だったと思います。 したが、大きなトラブルも れました。 神祭りに、微力ながら協力 の尽力で運営されている天 なく、祭りは盛況で大成功 てんじん祭実行委員会を 夕方から少し雨が降りま

たいと思います。 る天神祭りに参加していき